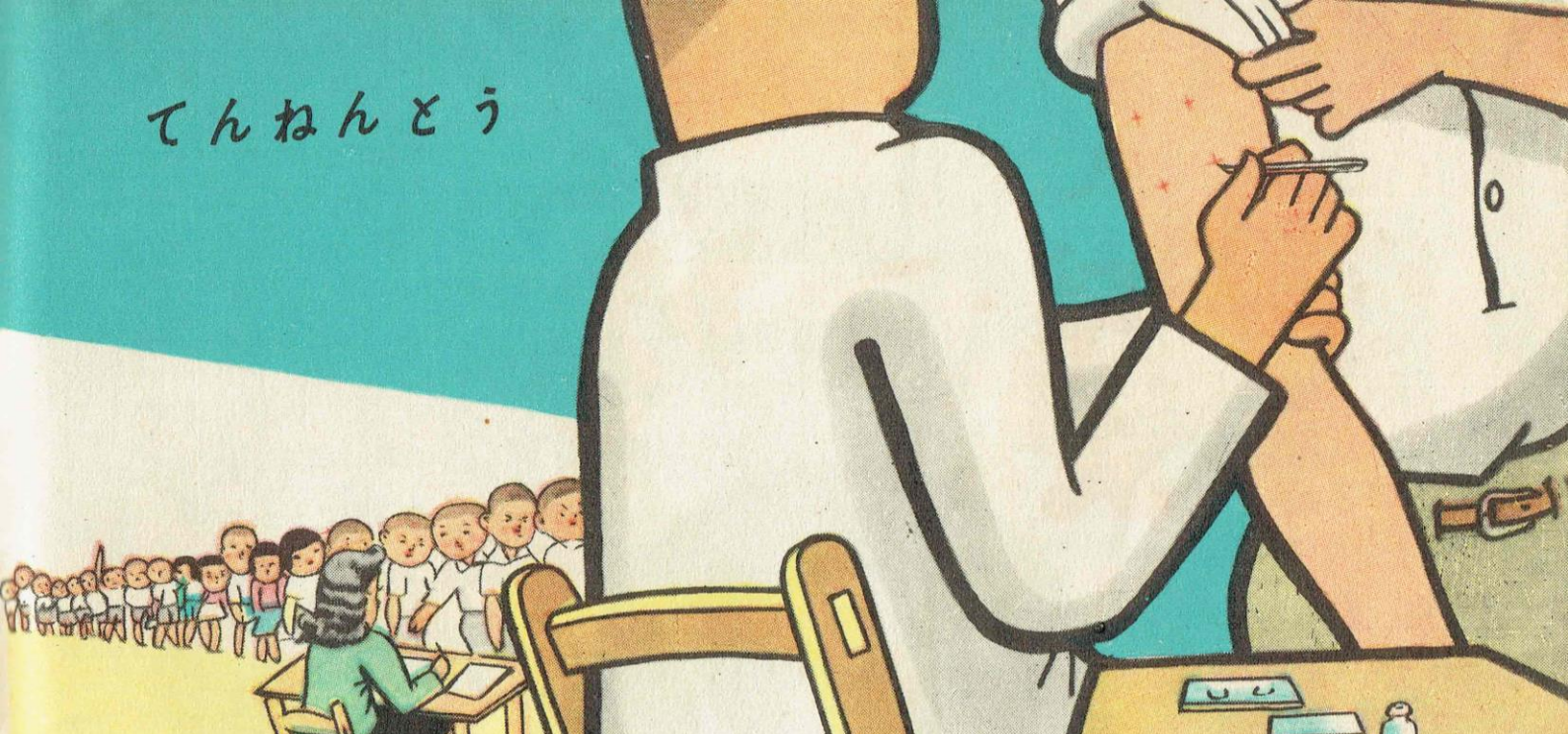


てんねんとう



特別展 教科書で教えられた伝染病

令和2年 6月24日 水 — 8月30日 日

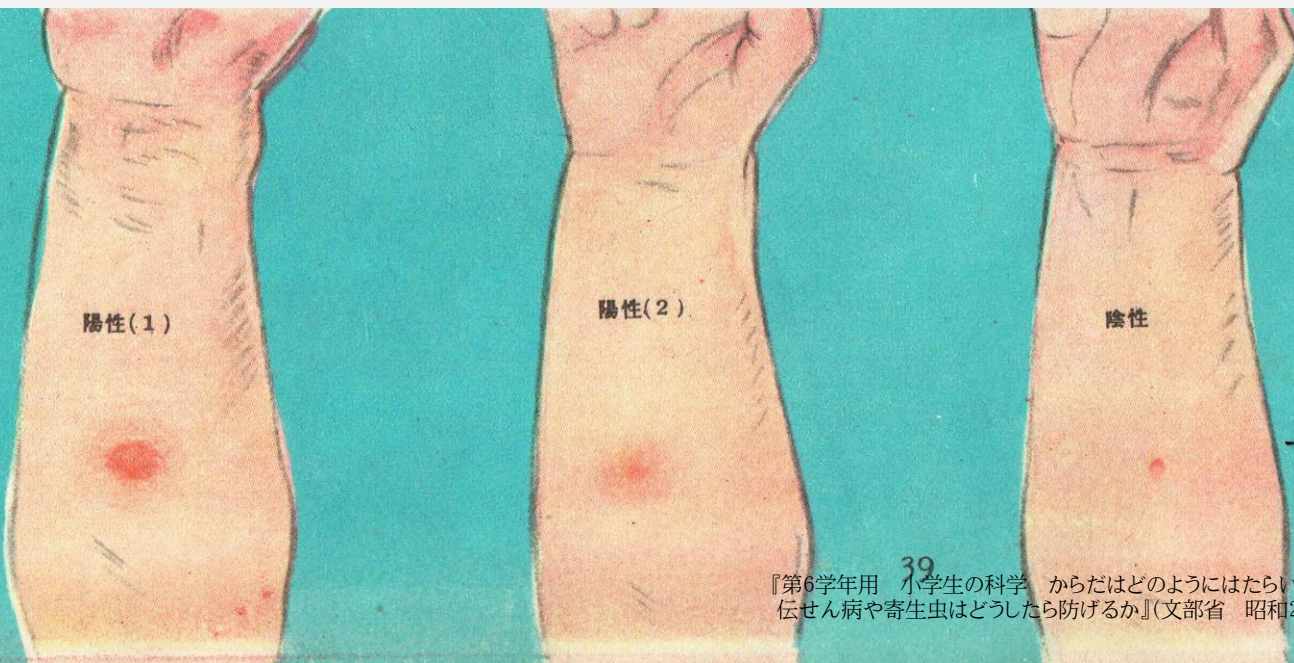
- ◆ 入場無料
- ◆ 開館時間
午前9:00～午後5:00
(入館は午後4:30まで)
- ◆ 休館日
月曜日(月曜祝日の場合翌日)
7月14日(火)～16日(木)



福井県教育総合研究所

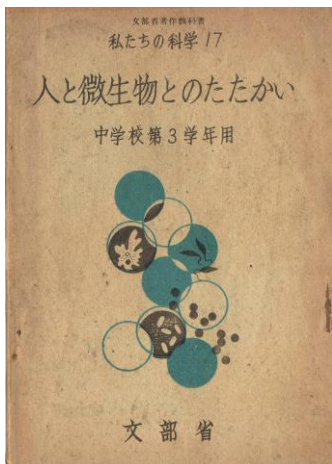
教育博物館

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑8-1
TEL:0776-58-2250 FAX:0776-58-2251
<https://www.fukui-educate.jp/museum/>



特別展

教科書で教えられた 伝染病



右上『私たちの科学17
人と微生物とのたたかい
中学校第3学年用』
(文部省 昭和23年)

左上・左下『第6学年用 小学生の科学
からだはどのように
はたらいっているか
伝せん病や寄生虫は
どうしたら防げるか』
(文部省 昭和24年)

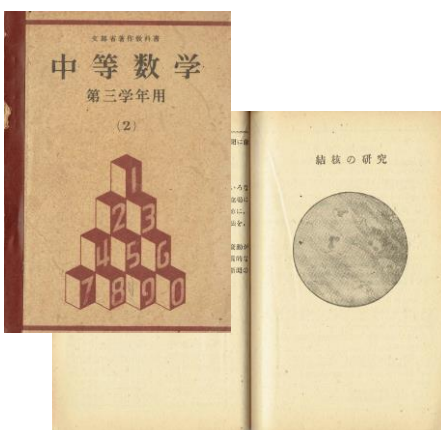


戦後期、伝染病は深刻な問題であった。

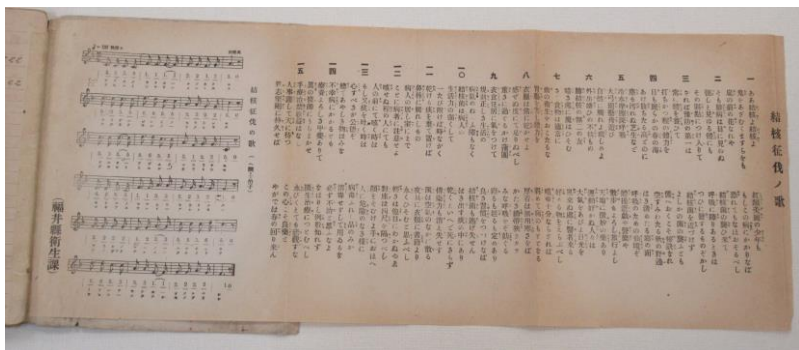
新型コロナウイルスが世界的に感染拡大しています。終戦後の昭和20年代に作られた教科書を見ると、感染症(当時は伝染病と表記)について書かれたものが多く、そのページ数にも驚くばかりです。

結核、腸チフス、コレラ、赤痢などの伝染病が社会的に深刻な問題であり、小中学校で子どもたちに正しい知識や予防法を伝えることがいかに重要視されていたかがわかります。掲載は、小学1年から中学3年にまで、教科は理科を中心に、社会、国語、家庭、保健体育、そして算数・数学にまで及びました。

コロナ禍により、学校が感染症対策に向き合っている現状は、終戦後の教育の転換期に似ています。そして、今後の感染症に関する学校教育のあり方や教科書が変わっていくことが予想されます。今回の特別展を通し、伝染病が深刻であった時期に、教科書でどのように扱われていたかをご紹介します。



『中等数学 第三学年用(2)』
(文部省 昭和23年)



音楽の先生のノートに見られた『結核征伐の歌』(大正期 遠山権吉 作)

◆会期

6月24日(水)
～8月30日(日)

◆開館時間

午前9:00～午後5:00
(入館は午後4:30まで)

◆入場無料

◆休館日

月曜日(祝日の場合翌日)
7月14日(火)～16日(木)

◆アクセス

- <JR> JR春江駅より徒歩約12分(1km)
- <えちぜん鉄道> 鷺塚針原駅より徒歩25分(2km)
- <京福バス> 福井駅「25エンゼルランド線」乗車
「教育博物館前」下車 徒歩5分
- ◆駐車場 普通乗用車200台 大型バス用2台
車いす専用駐車場あり



福井県教育総合研究所

教育博物館

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑8-1
TEL:0776-58-2250 FAX:0776-58-2251
<https://www.fukui-educate.jp/museum/>